

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

| | | | | | |
|------|----|-----|-----------|-----|-------|
| 学校番号 | 46 | 学校名 | 仙台市立福室小学校 | 校長名 | 千田 正義 |
|------|----|-----|-----------|-----|-------|

1 取組のタイトル, テーマ

「福室ごみゼロ大作戦(福室クリーン作戦)」



2 取組の紹介

事前指導では、全校児童に校内テレビ放送で本活動について説明しました。

① 地域のごみ拾い

4年生から6年生の児童が学年ごとに日にちを分けて、福室小学校の周りの公園や道などに落ちていたごみを拾いました。児童・学校とPTA・地域とが連携した協働の事業を行うことができました。

② ごみの分別

「燃える」「プラスチック」「ペットボトル」「カン」「ビン」の種類別に箱を設置。事前指導をした上で、拾ったごみを学校に持ち帰り、種類ごとに分けて捨てました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

福室小学校の近隣には公園がいくつかあります。その公園にお菓子の袋やタバコの吸い殻などが数多くポイ捨てされていました。それは児童も認知はしていましたが、それをどうにかしようと考えて行動する姿はほとんどないのが現状でした。



実際に活動してみると家や学校の掃除と同じように、町や自然環境をキレイにするごみ拾い活動をすることで、みんなが気持ちよく過ごせる場所作りができることに気付かせることができました。

子どもたちは、たくさんの集めたごみ袋を見て充実感を得ると共に、学校内外をきれいにしようとする意識が芽生え始めています。学級ごとに振り返りを行った際には「地域を見てもっときれいにしようと思いました。」「ごみを減らすのも大切だけど、ごみをポイ捨てないことも大切だと思いました。」など自分の住んでいる地域をきれいにしたいと考える児童が多くいました。

また、近所に住んでいる方に褒めていただいたり、下学年の児童も自主的に参加したりするなど良い効果もありました。

来年度は、全校での活動を検討しています。自分たちの住んでいる町をきれいにすることの良さを捉えさせ、住みやすい福室にしていけるような活動にしていきたいです。